

プロフェッショナル

仕事の流儀

江の島丸コラム

鶴島 渉

■甲板次長

潜水して船舶の安全を確保する

船は海水を吸入してエンジンを冷却するため海水吸入口に貝が付着すると冷却効果が低下します。また、排水口などもあり、貝が付着すると排出障害が発生するため定期的な点検が必要です。スクリュプロペラへ釣り糸などを巻き付けていると、糸がプロペラシャフトの内側に入り溶けてしまいます。その他、船体に取り付けている保護亜鉛板の消耗状態を確認する必要があります。それらの理由により水面下の各部を点検するため、8月の最終日に漁業調査指導船「江の島丸」の船底に潜水しました。

「江の島丸」には、潜水資器材が備わっており、スクリュプロペラにロープ等を巻き付けて航行不能となった場合などは潜水除去して安全を確保します。

そのため潜水が可能な者は、スキルを維持するために、定期的に潜水訓練を行っています。

船舶の安全を確保するために、船員が潜水作業をすることもある。ということをご理解頂けますと幸いです。



甲板長との潜水訓練の様子



水産技術センター前にて研究員の作業補助を行いました





潜水による実際の船底点検の様子